

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針1 明日の宮津を創る子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
<b>■ 教育委員会全般</b>			
1 教育委員会活動費／教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育委員会：15回／年</li> <li>■総合教育会議：3回／年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認</li> <li>■教育委員会事務事業点検評価の実施</li> </ul>	
<b>■ 学びの基礎を育てる教育・保育の充実</b>			
2 私立幼稚園振興助成事業／幼稚園教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■私立幼稚園振興補助金：9人</li> <li>■施設等利用費等（無償化分）：37人</li> <li>■実費徴収に係る補足給付：11人</li> </ul>	<b>【H32目標】公立幼稚園入園児数：90名</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■公立幼稚園入園児数：36名（R1：50名）</li> <li>■私立幼稚園教育の振興と保護者の経済的負担の軽減</li> <li>■保育・教育無償化（R元10.1～）の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公立幼稚園入園児童数の増加に向けた取組が必要</li> <li>■R3.4月～公立幼稚園で給食を開始</li> </ul>
<b>■ 質の高い学力の充実・向上</b>			
3 小中一貫教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■宮津市教育オンラインフォーラムの開催</li> <li>■小中一貫教育職員の配置(1名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小中一貫教育本格実施と併せて取り組む学力向上プランの実施</li> <li>■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく認知能力・非認知能力を一体的に育む教科指導等のさらなる充実が必要</li> </ul>
4 小学校・中学校教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特別支援教育支援員配置(小10人・中4人)</li> <li>■漢字検定料(小240人・中100人)、英語検定料補助(中213人)</li> </ul>	<b>【H32目標】質の高い学力を育む：小6・中3全国平均以上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実</li> <li>■全国学力・学習状況調査の正答率：中3 全国平均以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある</li> </ul>
5 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語指導助手配置(小学校)：1名</li> <li>■英語指導助手配置(中学校)：1名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供</li> <li>■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある</li> <li>■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある</li> </ul>
<b>■ 心身ともに健やかな子どもの育成</b>			
6 いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査</li> </ul>	<b>【H32目標】いじめの認知件数／発生率：減少させる 認知いじめの年度内解消：100%</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■いじめの認知件数（小235件・中56件）</li> <li>■解消：小189件・中26件／解消に向け取組中：小46件・中32件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要</li> </ul>
7 学校給食運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■民間委託によるセンター方式給食の実施</li> <li>■宮津市学校給食委員会の開催</li> <li>■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理</li> <li>■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施(小学校4校、中学校2校)</li> <li>■令和3年度から開始する幼稚園給食導入準備</li> <li>■アレルギー対応マニュアルの改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成30年度から一部公会計化した学校給食費保護者負担金の債権管理</li> </ul>
8 教育支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育相談室「こころのまど」</li> <li>■適応指導教室「こころのひろば」</li> </ul>	<b>【H32目標】不登校児童生徒の出現率：0%</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■不登校児童生徒の居場所づくり、登校支援実施</li> <li>・R2 不登校児童生徒の出現率：小0.44% 中3.29%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■不登校児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要</li> </ul>
<b>■ 特別支援教育の充実</b>			
9 教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■宮津市教育支援委員会</li> <li>■特別支援教育支援員配置(小10人・中4人)（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幼児・児童生徒の就学等に向け、適正な教育支援</li> <li>■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■通常学級に在籍する要配慮児童等へ引き続き丁寧な教育支援が必要</li> </ul>

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針1 明日の宮津を創る子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
<b>■ 教育環境の整備・充実</b>			
10 幼稚園・小中学校管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幼稚園2園、小学校6校、中学校2校</li> <li>■小規模校における児童のより良い教育環境の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幼稚園・小中学校施設の維持管理の向上</li> <li>■小規模校(4小)合同学習の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日置小学校・養老小学校のより良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある</li> </ul>
11 スクールバス運行・購入事業／遠距離通学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒の安全確保のためスクールバス(9路線)の運行</li> <li>■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた</li> <li>■再編後の橋立中に通う生徒の通学のため専用スクールバス(2台)を運行</li> <li>■生活交通の確保が図られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める必要がある</li> </ul>
12 就学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新入学学用品費の入学前支給の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である</li> </ul>
13 小学校・中学校・幼稚園施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GIGAスクール構想の推進に向けた環境整備(児童生徒タブレット端末1,040台、高速大容量通信ネットワークの整備)</li> <li>■新型コロナウイルス感染拡大防止対策(マスクや消毒液等の保健衛生物品、サニタライザー等の備品の整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒1人1台端末及び使用する上でのネットワーク環境について整備が完了し、ICTを活用した教育の推進の基盤整備が図られた</li> <li>■小中学校及び幼稚園において新型コロナウイルス感染症対策が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ICTを活用した新たな学びの構築、活用方法の検討・実証</li> <li>■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続</li> </ul>
<b>■ 放課後児童クラブ事業</b>			
14 のびのび放課後クラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■直営クラブ1箇所(宮津)</li> <li>■民営クラブ3箇所(吉津、府中、栗田)</li> <li>■吉津小学校校舎内での開設、法人委託の開始</li> </ul>	<p><b>【H32目標】学校空き教室・学校敷地内での運営施設数:3箇所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■学校敷地内運営施設数:4箇所</li> <li>■直営クラブ:定員112名→実利用児童数120名</li> <li>■民営クラブ:定員105名→実利用児童数62名</li> <li>■吉津のびのび放課後児童クラブの学校敷地内等での開設、法人委託での運営開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■直営クラブについて民間委託を検討</li> </ul>

<b>【総括】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質の高い学力の充実・向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育では、「小中一貫教育推進基本計画」、「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るなど、認知能力・非認知能力を一体的に育む取組を進めることができた。</li> </ul> </li> <li>○心身ともに健やかな子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。</li> </ul> </li> <li>○教育環境の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール構想の推進に向け、児童生徒1人1台端末を整備するとともに、学校施設の高速度大容量通信ネットワークなど学習環境の整備を行った。</li> <li>・就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化し、児童生徒が安心して学習できる環境を整備した。</li> </ul> </li> <li>○放課後児童クラブ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から吉津小学校内敷地内に移転整備し、社会福祉法人に委託し運営を開始した。</li> <li>・開設時間を引き続き午後7時までに延長し、受け入れ環境の充実を図ることにより更なる保護者の支援につながった。</li> </ul> </li> </ul>
-------------	--

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針2 生涯にわたる充実した豊かな学び

主要事業		事業実績	成果	課題・検証
<b>■ 生涯学習の充実</b>				
1	生涯学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育委員会の開催 3回/年</li> <li>■青少年健全育成事業</li> <li>■宮津市すこやか大学の開設 受講者337名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育施策全般にわたる助言、評価等を実施することができた。</li> <li>■新型コロナウイルス感染症が拡大する中、小学生から高齢者にいたる全世代に対する学習機会を提供する予定であったが、大規模な研修会等が開催できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続</li> <li>■社会人（青年層から熟年層）を対象とした生涯学習機会の充実及び学習の成果を地域社会に還元する取組検討</li> </ul>
2	公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中央公民館・地区公民館を中心とした公民館事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症が拡大する中、公民館の休止、活動の制限があり、公民館事業の実施（中央公民館・9地区公民館＋宮津地区（5地区））が制限された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症感染防止を図りながら、各地域で抱える課題をテーマにした住民参加型の学習講座の充実</li> </ul>
<b>■ 生涯スポーツ社会の実現</b>				
3	スポーツ活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スポーツ推進委員の設置 11名</li> <li>■巡回ニュースポーツ教室の中止</li> <li>■子どもスポーツ教室の中止</li> <li>■SOMPPOボールゲームフェスタの開催 98名</li> <li>■宮津市スポーツ協会運営補助</li> <li>■全国大会等スポーツ大会出場選手激励金の交付 6件</li> <li>■四都市体育大会等スポーツ大会の中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市民体育館、運動施設の休止、大会等の中止があり、スポーツ活動の取り組みが出来なかった。</li> <li>■SOMPPOボールゲームフェスタの開催により、日本のトップレベルの選手に指導を受けることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、運動機会の提供を継続する。</li> </ul>
<b>■ 社会教育施設の整備・充実</b>				
4	社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育活用施設の管理運営 4地区7施設</li> <li>■体育館利用者件数 1,014件</li> <li>■グラウンド利用者件数 520件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の利用休止、制限がある中、気軽に利用できる生涯スポーツ施設として利用件数が増加した。</li> <li>■地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の老朽化</li> </ul>
5	図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■宮津市立図書館協議会の開催 2回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の利用休止、制限がある中、前年度蔵書の充実が図れた。</li> <li>■図書館利用者の拡大を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続</li> <li>■図書館ボランティアの拡大</li> </ul>
6	公民館施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日置地区公民館の移転を完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■老朽化した日置地区公民館を整備するにあたり、遊休施設の旧日置中学校校舎に移転整備し、移転を完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■老朽化した上宮津地区公民館の移転に向けて、地元関係者との協議を行う。</li> <li>■他の老朽化した地区公民館の整備計画の策定</li> </ul>

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針2 生涯にわたる充実した豊かな学び

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
<b>■ 家庭や地域の教育力の向上</b>			
7 青少年教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青少年問題協議会の開催 1回/年（書面会議）</li> <li>■ 青少年健全育成事業（再掲）</li> <li>■ 子どものびのび体験活動事業（陶芸、工芸、料理教室等）</li> <li>■ わくわく星座教室 10名</li> <li>■ 夏休みおもしろ体験教室の中止</li> <li>■ 家庭教育講演会の開催 1回/年 30名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 乳幼児期からの家庭教育講演会の開催等により、青少年の健全育成を図った。</li> <li>■ 家庭教育啓発リーフレット（乳幼児期）を作成し、乳幼児健診時に配付することにより、子育て時における家庭教育の啓発を図った。</li> <li>■ 家庭教育啓発チラシを作成し、夏、冬休み前に、幼稚園、小中学校保護者に配布し啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続</li> <li>■ 家庭教育研修への参加者の増加</li> </ul>
<b>■ 人権教育・啓発の推進</b>			
8 障害者教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 視覚・聴覚障害者成人講座の開催の中止</li> <li>■ 障害者青年学級の開催 18回/年 参加者延べ人数111名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各種講座を中止した。</li> <li>■ 制限がある中、青年学級については、予防対策を図りながら、交流、学習の機会を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続</li> <li>■ 指導者の後継者育成</li> <li>■ 各種事業への参加者の増加（固定化・高齢化）</li> </ul>
9 人権教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宮津市企業人権教育推進協議会への支援</li> <li>■ 人権問題研修会の開催 1回/年 参加者175名</li> <li>■ 人権カレンダーの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症を拡大する中、研修会、各地区公民館の講座等の開催が中止、縮小された。</li> <li>■ 市の広報誌に人権コーナーを設け、毎月人権に関わる記事掲載することにより市民への人権啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続</li> <li>■ 多様化する人権問題への対応</li> </ul>

<b>【総括】</b>	<p><b>○生涯学習の充実</b> 公民館活動を中心に、各種生涯学習事業の実施を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、施設の休館、利用制限を行ったことから、活動が停滞した。また。青少年教育・障害者教育・人権教育・高齢者教育についても同様に研修会、講座を中止、縮小を余儀なくされた。</p> <p><b>○生涯スポーツ社会の実現</b> 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、施設の休館、利用制限を行ったことから、活動が停滞した。</p> <p><b>○社会教育施設の整備・充実</b> 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、施設の休館、利用制限を行ったことから、活動が停滞した中、各社会教育施設が老朽化する中、改修などを行い利用者の利便性の向上に努めた。</p>
-------------	--

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
<b>■ 文化財の保護と活用</b>			
1 文化財保護・活用推進事業	<p>■文化財保護審議会の開催（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財候補物件の選定・審議等</li> <li>・指定候補文化財（天然記念物2件）の現地調査</li> </ul> <p>■市内新指定等文化財（R2年度）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①宮津市指定文化財 新規指定なし</li> <li>②京都府指定文化財 新規指定なし</li> <li>③京都府暫定登録文化財 新規指定</li> </ol> <p>■両丹文化財保護連絡協議会（12/3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府北部市町の審議会委員、担当者（約50名）</li> <li>「大河ドラマと地域社会-歴史の掘り起こしと地域振興」</li> </ul> <p>■文化財説明板の設置・更新（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新 「天長寺子安地蔵像」（宇日ヶ谷）</li> </ul> <p>■市内文化財保全事業（所有者実施） 16件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①宮津市社寺等文化資料保全費補助金 0件</li> <li>②国宝重要文化財等保存整備費補助金 1件</li> <li>③京都府指定・登録等文化財等補助金 3件</li> <li>④京都府社寺等文化資料保全補助金 8件</li> <li>⑤国・府指定登録文化財等維持管理費補助金 2件</li> <li>⑥その他補助金 2件</li> </ol> <p>■文化財保存活用地域計画の策定（R2～R5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存調査成果等の洗い出し、データ化</li> <li>・市民対象として地域の文化財に関する意識調査</li> </ul> <p>■「みやづ歴史紀行」の連載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報みやづ（月1回発行）に継続して連載</li> </ul>	<p>■市内新指定文化財</p> <p>コロナ禍で、十分な調査が行えず、府・市も合わせ新規の文化財指定を行うことができなかった。</p> <p>今後、過疎化により、今まで地域で守ってきた社寺等の建造物の保全が課題になり、今後も調査を通じ指定登録を推し進めていく必要がある</p> <p>■市内文化財の保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。</li> <li>・府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。</li> </ul> <p>■文化財保存活用地域計画の作成</p> <p>1年目として、既存調査成果の洗い出し、データ整理と、市民の意識調査（アンケート）を実施、2年目以降の作業につなげる成果を得た。</p>	<p>■市内の未指定文化財の調査と価値付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定文化財の指定の推進</li> <li>・市指定文化財あり方検討と新規指定</li> <li>・府暫定登録文化財制度の活用</li> </ul> <p>■指定文化財等のランクアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府・市指定文化財を国・府指定文化財へ</li> </ul> <p>■文化財保護に係る普及啓発活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※教育普及や市民ニーズの答えるよう実施</li> <li>・歴史講座等の実施</li> <li>・文化財図録等の刊行</li> <li>・ICTを活用した情報発信</li> </ul> <p>■文化財の活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史や文化財を生かしたまちづくりの推進</li> <li>※ひとづくり(教育) まちづくり(観光等) の視点</li> </ul> <p>■市内文化財の保全事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府等の補助制度を活用した市内の文化財修理事業の推進</li> <li>・市独自の文化財保全事業補助制度の構築</li> <li>※市指定文化財修理に対する補助制度など</li> </ul> <p>■人づくり・まちづくりに資する文化財の保存と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護活用に係るマスタープラン作成</li> <li>※R2～R4 文化財保存活用地域計画の作成</li> <li>・学校教育、社会教育、その他との連携協力体制構築</li> </ul>
2 市内遺跡発掘調査事業	<p>■安国寺遺跡発掘調査の実施（28年度からの継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査未実施、過去調査の遺物整理を実施。</li> </ul> <p>■発行行為に伴う工事立会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津城跡など 10件</li> </ul> <p>■遺跡保護のための発行行為との調整</p>	<p>■安国寺遺跡発掘調査</p> <p>国府跡を裏付ける明確な遺構を検出することはできなかったが、瓦や墨書土器など奈末良～平安前期の豊富な遺物の出土をみた。</p>	<p>■安国寺遺跡発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討</li> <li>・調査成果の普及啓発と活用</li> </ul> <p>■増大する民間開発（主に宅地造成）に対する対応</p> <p>■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用</p>
3 重要文化的景観保護推進事業	<p>■文化的景観検討委員会の開催（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津地区調査報告書の内容検討 ほか</li> </ul> <p>■文化的景観整備事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未実施</li> </ul> <p>■宮津地区追加選定に向けた調査報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書の刊行（A4版カラー 465頁）</li> </ul>	<p>■宮津地区追加選定に向けた調査報告書の刊行</p> <p>R元年度事業の繰越事業となっていた、宮津地区の文化的景観の特質や価値を明らかにする報告書を刊行。追加指定に向け弾みをつけることができた。</p> <p>「宮津天橋立の文化的景観調査報告書〔宮津地区・補遺編〕」 A4版カラー 465頁 300冊</p>	<p>■宮津市街地地区の追加選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の刊行</li> <li>・保存管理計画の策定</li> <li>・地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催</li> <li>・文化庁への選定申請、景観計画変更等</li> </ul> <p>■計画的な整備事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観まちづくりの視点を持ち対象を誘導</li> </ul>

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業		事業実績	成果	課題・検証
4	旧三上家住宅管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■指定管理者による管理運営の実施（建物公開）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者 元結屋27</li> <li>・自主事業 お茶会・展示等8種のイベント開催</li> <li>・観覧者数 2,350人（R元年度：3,963人）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■重要文化財建造物の保全を図りつつ、建物の公開活動を通じ、市街地の歴史文化の普及啓発が図れた。</li> <li>■コロナ禍で休館のあり、観覧者数は大きく落ち込んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■指定管理者による運営・事業の今後の在り方の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期（R3～）指定管理者の選定 ほか</li> </ul> </li> <li>■文化施設、観光施設としての活用策の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大河ドラマ・北前船関連事業との連携等</li> <li>・旅行商品の造成、インバウンド対策</li> </ul> </li> <li>■建物の耐震診断、活用も踏まえた大規模修理の検討</li> </ul>
5	歴史資料館管理運営事業	<p>○現在休館中のため、施設の維持管理と、常設展示室の随時公開の活用を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■常設展示室の活用（無料公開等）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別公開（イベント時等の公開） 計1回 計152人</li> <li>・特別利用（団体の見学希望） 計3件 計57人</li> </ul> </li> <li>■所蔵資料・写真等の貸出 計7件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共施設再編方針の議論の中、歴史資料館については、島崎地区のサウンディング調査の結果を踏まえ、今後の在り方を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■資料館・歴史ガイダンス施設の今後の在り方検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「文化財保存活用地域計画」策定でも議論予定</li> </ul> </li> </ul>

# 教育委員会事務事業総括書

(様式1)

## 基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証	
<b>■ 文化・芸術活動の推進</b>				
6	文化振興推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■丹後文化芸術祭に参加（丹後美術工芸展 ほか）</li> <li>■市民文化祭の開催（文団協、実践センターと共催）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術展（11/6～8 出展者:130人 観覧者:646人）</li> <li>・音楽祭（11/1 参加:3団体 観覧者:204人）</li> <li>・芸能祭（11/3 参加:8団体 観覧者:355人）</li> <li>・茶席（11/3）</li> <li>・歴史資料館公開（11/1～3 観覧者:152人）</li> </ul> </li> <li>■市民地方講座の開催（29年6月～31年3月）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方講座（歴史の館 ）5回 受講者延59人）</li> <li>・出前講座（宮津小学校）14回 受講者11人（延68人）</li> </ul> </li> <li>■文化団体協議会（加入35団体）の活動支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民夏季文化活動 中止</li> <li>・秋・冬の文化行事 団体実施の発表会等の広報</li> <li>・機関紙「文化の潮」59号の発行（各戸配布）</li> </ul> </li> <li>■浜町ギャラリー利用調整（4/1～3/31）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用件数（日数）:14件（108日）</li> <li>写真・絵画の個展など丹後一円から利用</li> <li>・来場者数計:4,926人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R3年度より市長部局に事務移管されたが以下の課題を記す</li> <li>■アフターコロナの文化団体協議会の活動支援</li> <li>■ウイズコロナ時代の新たな文化活動の在り方検討</li> <li>■文団協加盟団体以外の文化団体・個人の発掘と支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内若手芸術家等への支援 など</li> </ul> </li> <li>■浜町ギャラリーの更なる有効活用策の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体(丹後一円)の組織化・連携強化</li> <li>・新規性、集客性のある催し物の実施検討</li> </ul> </li> <li>■文化を生かしたまちづくり施策（文化政策）の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統文化の保全とリノベーション、情報発信</li> <li>・学校や社会教育との連携 など</li> </ul> </li> </ul>	
7	みやづ歴史の館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■経年劣化、故障した設備の更新 1件                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ電波共聴システムヘッドアンプ更新</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ここ数年不具合が連続していたチャンネルごとの受信アンプを全部更新。以降同種の不具合は生じていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■経年劣化した設備関係の計画的更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用年数を迎える受電設備、冷却設備等の更新</li> <li>・エレベータ耐震化工事</li> <li>・文化ホール設備の更新（音響設備・吊物等）</li> </ul> </li> </ul>
8	みやづ歴史の館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テレビ電波共聴システムの維持管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ電波共聴システム保守委託</li> <li>・架線繰り上げ修繕 システム保守委託</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■システムの維持と恙なく実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近年増加傾向のシステム不具合発生時の速やかな対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての電波送信アンプの更新（R2実施予定）</li> </ul> </li> </ul>

<b>【総括】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護・活用推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市の文化財保護活用のマスタープランとなる「文化財保存活用地域計画」の策定に着手。今後議論を活性化し、本市の歴史文化を活かしたまちづくり、人づくりに資していきたい。</li> <li>・一方、近年滞り気味の市指定文化財の指定について、その意義やあり方を、宮津市の独自性の視点をもち検討していきたい。</li> </ul> </li> <li>○市内遺跡発掘調査事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安国寺遺跡発掘調査においては、引き続き調査事業を継続し、市内の重要遺跡としての価値内容を明らかにし、その保全策を検討する。</li> <li>・一方、計画期間の見直しや遺跡の価値付け評価・今後の保全策についても検討を進めていく必要がある。</li> <li>・安国寺遺跡のほかの市内の重要遺跡についても今後発掘調査を計画的・継続的に実施、内容を明らかにし、これら遺跡の保全と活用に資する資料を蓄積していきたい。</li> </ul> </li> <li>○重要文化的景観保護推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津地区の追加選定に向け、懸案であった「調査報告書」を刊行することができた。今後は必要な景観規制や「重要な構成要素」の特定など保存管理計画を作成、同時に普及啓発を通じ地域住民の機運醸成、同意形成を図っていきたい。</li> <li>・民間所有の「重要な構成要素」（建造物等）の整備事業については、宮津地区の新規案件も視野に入れ計画的に実施し、良好な景観形成を通じた魅力的なまちづくりに寄与していきたい。</li> </ul> </li> </ul>
-------------	---